

令和6年度

事業計画及び資金収支予算書

社会福祉
法人

佐野市社会福祉協議会

目 次

1	令和6年度 事業計画		1
2	令和6年度 資金収支予算書		1 5
		資金収支予算書	1 9
社会福祉事業区分	地域福祉事業拠点区分	資金収支予算書	2 3
		サービス区分内訳表	2 7
	生活支援事業拠点区分	資金収支予算書	3 5
		サービス区分内訳表	3 9
公益事業区分	資金収支予算書 (兼 福祉サービス事業拠点区分資金収支予算書)		4 7
	福祉サービス事業拠点区分	サービス区分内訳表	4 9
収益事業区分	資金収支予算書 (兼売店事業拠点区分資金収支予算 兼サービス区分内訳表)		5 3

令和6年度事業計画

基本方針

少子高齢化に伴う人口減少、インターネットやSNS*の普及によるデジタル社会の進展、新型コロナウイルス感染症の大流行や自然災害の多発など、社会環境の急激な変化とともに人々の価値観やライフスタイルも多様化し、これまでと大きく変化してきています。地域においては、住民が集う場や機会の減少が目立ち、住民同士のつながりが希薄化しており、生活課題を抱える方が社会から孤立するケースが顕著となっています。

佐野市社会福祉協議会では、一昨年から準備を進め、昨年度、第4次佐野市地域福祉活動計画を第4期佐野市地域福祉計画と一体的に策定しました。計画策定を通して、市民アンケートや地区座談会、こども会議を経て、見えてきた生活課題に対応していくため、地域福祉活動を支える人材育成、地域福祉活動への支援を継続して行うとともに、地域住民が集う場や機会を地域住民の主体な活動を通して創出していけるよう支援していきます。また、課題を抱える生活困窮世帯への自立支援、高齢者への介護サービスや介護予防サービスを提供していきます。

佐野市社会福祉協議会は、地域福祉推進の中核団体として、地域内の住民、各種団体、関係機関の連携・協働の場（プラットフォーム）としての機能を果たしていけるよう取り組んでいきます。

*SNS…Social Networking Service（ソーシャルネットワーキングサービス）の略で、社会的なネットワークを築くためのサービス。フェイスブックやインスタグラム、ラインなどがある。

重点目標

1 福祉情報の発信と地域福祉活動の担い手の育成

市民に対し広報活動を行い、広く福祉情報を提供し市民の福祉意識の向上を図ります。また、地域における福祉活動の活性化を図るため、ボランティアセンター事業、各種研修会・講座の開催、学校へ授業協力などを通して、地域福祉活動を支える担い手を育成します。

2 要支援者に対する交流の場の提供と子どもの居場所づくり支援

地域での人と人とのつながりが希薄になり、近年は家族関係も希薄になってきていることから、高齢者や子育て世帯等が孤立しないよう、高齢者の気軽な交流の場や、相談できる場を提供していきます。また、子どもの居場所づくりなど、地域における子育て活動の支援をしていきます。

3 地区社会福祉協議会の活動支援と要支援者へのサポート

地域福祉活動の活性化のため、地区社会福祉協議会をはじめとする地域福祉活動を行う団体などの地域住民の福祉活動を支援します。また、要支援者への継続的なサポートを推進するため、関係機関や各種団体と連携・協働し包括的な支援体制を整えます。

4 生活困窮者等への相談支援の充実と市社会福祉協議会の体制づくり

生活困窮者等の要支援者への継続的な支援を進めていくため、関係機関と連携・協働し包括的な相談支援体制に取り組んでいきます。また、職場内部での研修を充実していくとともに、業務データの整理や管理などへOAソフトウェアを導入していくため調査検討を行います。総合福祉センターでは光熱費の節減、クリーンエネルギーの活用と災害等停電時の電力確保を充実するため、太陽光発電システムを導入します。

「SDGs」への取組

第4次佐野市地域福祉活動計画ではSDGsの視点を取り入れ、「誰一人取り残さない」社会の構築を推進します。

【SDGsとは】

「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。

2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。(外務省HPから抜粋)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【SDGs 17の目標】

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 貧困をなくそう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 2 飢餓をゼロに | 11 住み続けられるまちづくりを |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 12 つくる責任つかう責任 |
| 4 質の高い教育をみんなに | 13 気候変動に具体的な対策を |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 14 海の豊かさを守ろう |
| 6 安全な水とトイレを世界中に | 15 陸の豊かさも守ろう |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16 平和と公正をすべての人に |
| 8 働きがいも経済成長も | 17 パートナーシップで目標を達成しよう |
| 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | |

【基本目標 1】 健やかで元気に暮らせるまちづくり

[SDGs 関連指標]



■施策 1 福祉意識の醸成に向けた情報発信

広報紙「さの社協だより」やホームページ、SNS など様々な媒体を通じた情報発信を行います。地域福祉推進の取組に地域住民が主体となって参加・参画していただけるよう福祉に関する知識の普及・啓発を行い、住民同士が共に支え合う福祉活動を基盤に地域福祉を推進します。また、市内の福祉活動の状況や本協議会が行う事業を中心に、災害ボランティアの情報も含め、様々な手段を併用して情報提供を行います。

事務事業名	内 容	
広報事業	本協議会が実施する事業や地域の福祉活動、市内外のボランティアなど福祉情報を発信するため「さの社協だより」を年4回発行する。また、その他ホームページ、SNS、パンフレットなども併用し、情報の発信・提供を行う。	形態：自主事業 財源：会員会費・共同募金配分金・寄付金 予算：4,012千円
社会福祉大会開催事業	市と共催して「佐野市社会福祉大会」を開催し、地域福祉功労者等の表彰、感謝状の贈呈、福祉作文の発表、福祉講演等を行い、市民へ福祉への理解や福祉意識の醸成を図る。	形態：自主事業 財源：会員会費 (予算：101千円 地域福祉啓発事業)
福祉作文募集事業	小中学生を対象に、福祉について日常生活で感じ、考えたことや学んだことを作文とすることで、福祉への理解と関心を高める機会となるよう福祉作文の募集を行う。また、高校生以上の市民を対象とした福祉標語の募集を行い、広く福祉意識の向上と啓発を図る。	形態：自主事業 財源：共同募金配分金 予算：456千円
佐野市ふくしフェスタ開催事業	地域共生社会を目指し、市内のボランティア団体や福祉団体、福祉施設、学校、企業などが参加し、参加団体が主体となり、日頃の取り組みを紹介する。来場者に「ふくし」を広く知ってもらい、地域福祉活動への興味・関心・理解を広げ、地域福祉の推進を図ることを目的として開催する。	形態：自主事業 財源：会員会費・寄付金 予算：3,000千円

■施策2 地域福祉を推進する人材の養成

年代問わず福祉を身近に「我が事」として捉え、自分たちの地域課題や、将来の在り方などを考えていただく機会を提供し、地域活動の担い手を支援・育成します。

事務事業名	内 容	
地域福祉啓発事業（重点目標）	福祉に関する体験や講座を広く市民に提供し、福祉への理解や啓発を深めるとともに、福祉の担い手の育成を図ることを目的として、学校や地域、企業などに出前講座を実施する。	形態：自主事業 財源：会員会費 予算：335千円
ボランティアセンター事業（重点目標）	地域のボランティアニーズに対応した講座等を企画・実施することで地域福祉活動の担い手としてボランティアを育成するとともに、コーディネートを行う。 また、平時から、災害ボランティアセンター設置運営訓練や災害をテーマとした研修会を定期的に行う。	形態：自主事業 財源：会員会費 予算：883千円
奉仕員養成研修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・手話講習会の開催 手話を習得することにより、聴覚障がい者への理解と交流を深め、手話のボランティアを養成する。 ・点字講習会の開催 点字を習得することにより、視覚障がい者との理解と交流を深め、点訳のボランティアを養成する。 	形態：受託事業 財源：市受託金 予算：1,343千円

■施策3 地域福祉活動団体等への活動支援

福祉団体やボランティア団体などと協力し、誰もが住みやすいまちづくりを目指すため、財政的支援や研修等のサポートを行います。

事務事業名	内 容	
地域福祉活動助成事業	福祉団体の育成及び活動の推進のために活動費を助成する。また、公募により地域ささえあい活動助成金を市内の団体が行う地域福祉活動の事業に助成する。	形態：自主事業 財源：共同募金配分金 予算：3,679千円
社協バス管理運営事業	高齢者福祉センター利用者の利便性と各種福祉団体の研修等の活動を支援するため、社協バスを運行する。	形態：補助事業 財源：市補助金 予算：1,006千円

■施策4 多様性を認め合う地域づくりの推進

外国人、性別、障がいの有無等に関わらず、互いに尊重し合い、自分らしく暮らすことができるまちづくりを推進します。

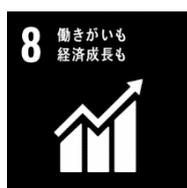
事務事業名	内 容	
心身障がい 児・者交流事業	心身障がい児・者がイベントやレクリエーションなどをボランティアとともに体験し、相互交流を深め、心身障がい児・者の自立と社会参加を促進する。	形態：補助事業 財源：市補助金・寄付金 予算：248千円

●地域福祉事業の運営

事務事業名	内 容	
地域福祉運営 事業	地域福祉の充実を図るための事業運営にかかる事務費用	形態：自主事業 財源：会員会費・ 予算：1,436千円

【基本目標2】快適により安全で安心して暮らせるまちづくり

[SDGs 関連指標]



■施策1 心と体の健康づくりや地域医療体制の充実

介護者の負担軽減や、心配ごとをはじめ広く相談を受けるとともに、医療、介護、福祉の連携と住民による支えあいの仕組みづくりを推進し、地域で安心して生活できるまちづくりを支援します。

事務事業名	内 容	
家族介護者交流 事業	高齢者等を介護している方を対象に、介護者の交流を目的とした研修会や、介護技術習得を中心とした研修会を実施する。さらに日頃の介護疲れを癒し、リフレッシュするための「在宅介護者の集い」を開催する。	形態：受託事業 財源：市受託金 予算：537千円

■施策2 子ども・子育て支援の充実

仕事と育児の両立に対する支援とニーズを結び付けるファミリーサポートセンター事業の推進と、地域における子育て活動への支援を行うとともに、児童の発達に関する相談やサービスの提供を行い、次代を担う子どもたちの健やかな成長と、子育てを支援します。

事務事業名	内 容	
ファミリー・サポート・センター事業	生後6か月から13歳未満のお子さんの子育てにおいて、「援助をしてほしい人（依頼会員）」「援助のできる人（提供会員）」が相互に援助活動ができるよう連絡・調整を行い、安心して子育てのできる地域の環境づくりを行う。また、講習会や交流会の実施を通して、会員のスキルアップを図る。	形態：受託事業 財源：市受託金 予算：10,541千円
地域子育て応援事業 (新規事業)	市内における子育て環境をより良いものとなるよう、子育てに関する福祉活動を支援し地域福祉の推進を図る。 初年度は、ニーズ調査や実施事業の検討を行う。	形態：自主事業 財源：会員会費 (予算：170千円 地域福祉運営事業)

■施策3 高齢者の福祉の充実

誰もが住み慣れた地域で安心して日常生活を営めるよう、介護保険事業や高齢者の見守り・活動支援通所事業など、一人一人の心身の状況や置かれている環境に応じて適切な支援を行うとともに、その人らしい豊かな生活が送れるよう、各種サービスの充実を図ります。

事務事業名	内 容	
ひとり暮らし高齢者等見守り事業	ひとり暮らし高齢者等を対象に、地区社会福祉協議会をはじめ、地域住民の参加・協力を得て見守り活動を実施し、地域のネットワークの充実を促進する。	形態：補助事業 財源：市補助金 予算：4,217千円
高齢者生きがい活動支援通所事業	高齢者の外出を促し、社会的孤独感の解消や自立生活の助長、介護予防を目的として通いの場を設置し、各種サービスを提供する。 開設場所：あくと生きがいサロン、常盤生きがいサロン、氷室生きがいサロン、会沢生きがいサロン	形態：受託事業 財源：市受託金 予算：4,881千円
葛生あくと高齢者生きがい工房	陶芸などを通じて高齢者が趣味を生かし、生きがいのある生活が送れるよう支援する。	形態：指定管理 財源：指定管理料 予算：210千円
居宅介護支援事業（ケアマネジメント）	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業 要介護の介護認定を受けた方が、居宅介護サービス等の適切な利用ができるよう、心身の状況、その置かれている環境、家庭の希望等を勘案し、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、関係機関との連絡調整、給付管理を行う。 ・介護予防支援事業 地域包括支援センターから委託を受けて、要支援1・2の方の介護予防サービス計画の作成及び総合 	形態：自主事業 財源：介護保険収入 予算：32,674千円

	<p>事業対象者の介護予防ケアマネジメントを行い、関係機関との連絡調整、給付管理を行う。</p> <p>事業所名：社協ケアプランセンター佐野</p>	
介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターが指定介護予防支援事業所として、介護予防ケアマネジメントを実施する。 ・担当日常生活圏域【佐野、犬伏】 事業所名：佐野市地域包括支援センターさの社協 ・担当日常生活圏域【葛生、常盤、氷室】 事業所名：佐野市地域包括支援センターくずう 	<p>形態：自主事業 財源：介護保険収入 予算：さの社協 28,758千円 予算：くずう 9,486千円</p>
通所介護事業 (デイサービス)	<p>「要介護」もしくは、「要支援」の介護認定を受けた方と総合事業の対象の方に対し、入浴・食事の提供・その他自立した生活が送れるよう日常生活上の介助及び身体機能の維持や向上を目的とした機能訓練等を行う。</p> <p>事業所名：デイサービスセンターふくしの里</p>	<p>形態：自主事業 財源：介護保険収入 予算：80,366千円</p>
高齢者福祉センター管理運営事業 (重点目標)	<p>高齢者福祉の増進と地域コミュニティの拠点づくりのために、施設の管理経営のほか、各種事業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康増進、教養の向上を目的に講習会等を開催する。 (健康体操・交通安全講話等) ・高齢者の「いこいの場」を提供する。 (県民の日・敬老の日イベント) ・シニアクラブの研修の場を提供する。 ・高齢者と地域住民との交流の場を提供する。 (カラオケ発表会) ・茂呂山クラブ(温泉・カラオケ・健康麻雀・書道・卓球)の開催。 ・巡回バスの運行(東回り・西回り・南回りの3コース) <p>施設名：茂呂山老人福祉センター</p>	<p>形態：指定管理 財源：指定管理料 予算：61,149千円</p>
	<p>高齢者福祉の増進と地域コミュニティの拠点づくりのために、施設の管理経営のほか、各種事業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康増進、教養向上のための講習会開催(たのいり元気塾、介護予防教室、交通安全教室) ・高齢者の「いこいの場」の提供(県民の日・敬老の日イベント、四季折々の飾り付け) ・シニアクラブ研修の場の提供 	<p>形態：指定管理 財源：指定管理料 予算：45,087千円</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の場の提供（カラオケ発表会、各種公演） ・巡回バスの運行（東回り・西回り・南回りの3コース） <p>施設名：田之入老人福祉センター</p>	
	<p>高齢者福祉の増進と地域コミュニティの拠点づくりのために、施設の管理経営のほか、各種事業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康増進、教養向上のために講習会開催（健康体操、元気はつらつ講座、介護予防講座） ・高齢者の「いこいの場」の提供（県民の日・敬老の日イベント、四季折々の飾り付け） ・シニアクラブ研修の場の提供（絵手紙） ・地域交流の場の提供（カラオケ発表会） <p>施設名：田沼老人福祉センター</p>	<p>形態：指定管理 財源：指定管理料 予算：16,211千円</p>
	<p>高齢者福祉の増進と地域コミュニティの拠点づくりのために、施設の管理経営のほか、各種事業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康増進、教養向上のための講習会開催（健康体操、絵手紙、各種講話） ・高齢者の「いこいの場」の提供（県民の日・敬老の日イベント、四季折々の飾り付け） ・シニアクラブ研修の場の提供 ・地域交流の場の提供（カラオケ発表会、各種公演） <p>施設名：葛生あくど福祉センター</p>	<p>形態：指定管理 財源：指定管理料 予算：22,859千円</p>

■施策4 障がい児者の福祉の推進

こどもの健やかな成長と子育て支援に向けて、発達に心配のある児童へ相談支援、療育を実施するとともに、保護者へのサポートも行います。

事務事業名	内 容	
児童発達支援事業	<p>通所により、日常生活における基本的習慣や、集団生活に適応するコミュニケーション能力、運動機能の向上をグループや個別で支援する。</p> <p>また、保護者同士の交流の場や研修の機会を設け、助言や関係機関へ繋げるなど保護者へのサポートをする。</p> <p>事業所名：さのチャイルドケアセンターすてっぷ</p>	<p>形態：自主事業 財源：障害福祉サービス等事業収入 予算：24,190千円</p>
障害児相談支援事業	<p>発達に心配のある幼児・児童が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、課題の解決や適切なサービス利用のための計画を作成し、きめ細</p>	<p>形態：自主事業 財源：障害福祉サービス等事業収入</p>

事務事業名	内 容	
	かい相談支援を行う。 事業所名：さの社協相談支援センターほっぷ	予算：12,559千円

■施策5 移動サービス（公共交通等）の推進

車イス利用者の買い物・通院・旅行など外出等の支援や日常生活の支援として、福祉車両や福祉用具を貸出し、外出しやすい環境づくりに貢献します。

事務事業名	内 容	
福祉用具等貸出事業	車イス等の福祉用具や車イスのまま乗車できる福祉車両の貸出し、また、町会等の地域行事など非営利のイベントを対象として、かき氷機、綿あめ機など機材の貸出しを行う。	形態：自主事業 財源：会員会費 予算：864千円

●福祉サービス事業の運営

事務事業名	内 容	
福祉サービス運営事業	高齢者福祉の充実及び、障がい児者福祉の充実を図るための、管理運営にかかる人件費と事務費用	形態：自主事業 財源：自主財源 予算：53,325千円

【基本目標3】市民参加による自立したまちづくり

[SDGs 関連指標]



■施策1 地域住民等が集う拠点の整備

在宅高齢者等の外出を促し、社会的孤独感の解消や自立生活の助長、介護予防を目的として、憩いの場を提供します。また、地域住民を主体とした地域課題への取組として、高齢者や子ども達などの通いの場の設置運営に関して相談援助などを行います。

【関連事業】高齢者生きがい活動支援通所事業、生活支援体制整備事業、地区社会福祉協議会活動支援事業

■施策2 地域住民の主体的な活動参加への支援

生活する地域の特性を活かしながら、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画する活動の支援や、地域で実施される活動や、地域の社会資源を把握し、「人と人」「人と居場所」をつなぎ合わせ、地域福祉の推進を図ります。また、世代や属性を超えて、住民同士が交流できる多様な場や居場所を整備します。

事務事業名	内 容	
地区社会福祉協議会活動支援事業（重点目標）	市内18地区に設置された地区社会福祉協議会に対し、連絡会議など情報提供・意見交換の場を設定するとともに、各地区で世代間交流の居場所づくりや地域の生活課題の解決に向けた取組を支援する。また、地区社協支援職員を積極的に活用するとともに、地域住民による福祉活動の活性化を図るため活動助成を行う。	形態：自主事業 財源：会員会費 予算：2,752千円
生活支援体制整備事業	生活支援コーディネーターを配置し、日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築する。 そのために、支援ニーズとサービスのコーディネーター機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図る。	形態：受託事業 財源：市受託金 予算：8,429千円
地域活動拠点整備事業（新規事業）	地域福祉活動団体が空き家等を活用し、活動の拠点を整備することで、地域福祉活動の活性化につなげられるよう支援する。	形態：自主事業 財源：会員会費 予算：34千円

■施策3 分野横断や多機関の協働による包括的な相談支援体制の構築

地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に実施します。

地域を取り巻く福祉課題が多様化、複雑化しており、身近に相談できる窓口を充実させ、関係機関と連携を密にとりながら適切な助言や援助へつなげる相談支援体制を整備します。

事務事業名	内 容	
地域包括支援センター運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行う。 ・地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャーが中心となり、チームとして連携を図りながら活動する。 ・担当日常生活圏域【佐野、犬伏】 事業所名：佐野市地域包括支援センターさの社協 ・担当日常生活圏域【葛生、常盤、氷室】 事業所名：佐野市地域包括支援センターくずう 	形態：受託事業 財源：市受託金 予算：さの社協 46,662千円 予算：くずう 22,940千円
心配ごと相談事業	市民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言、援助を行い、安心して生活を送れるよう相談支援を行う。	形態：補助事業 財源：市補助金 予算：417千円

	また、毎月1回（第1火曜日）弁護士相談を実施し、法律に関する相談にも応じる。	
要援護者サポート事業 （新規事業）	日常生活に不安や問題を抱えている方への、相談体制や物資的援助を含め、支援ができる人と支援をして欲しい人とを結び付けていく総合的支援を実施し、自立した生活ができるよう継続支援をする。	形態：自主事業 財源：会員会費・ 県社協補助金 （予算：360千円 福祉サービス運営 事業）

■施策4 官民協働や補助事業活用の促進

地域住民等が主体的に地域の課題を解決していく際には、その財源についても考える必要があります。公的財源のみならず、共同募金の活用・推進をします。

社会福祉法人による地域における公益的な取組や社会貢献活動との協働等の取組を推進していくために法人同士と地域のつながりを充実します。

事務事業名	内 容	
社会福祉法人連携協働事業 （重点目標）	佐野市社会福祉法人連絡会の事務局を担当し、市内社会福祉法人の連携協働を推進し、地域に必要な貢献活動に取り組む。	形態：自主事業 財源：会員会費・ 県社協補助金 （予算：310千円 法人事務事業）
共同募金配分事業	栃木県共同募金からの配分金を活用して、市社協の地域福祉活動の車両や備品を整備する。 市内の被災世帯に見舞金または弔慰金を配分する。	形態：自主事業 財源：共同募金配 分金 予算：1,942千円

【基本目標4】地域福祉推進の体制づくり

[SDGs 関連指標]



■施策1 権利擁護の推進

認知症や障がい等で判断能力が不十分であることにより、様々なサービス利用が出来ない人に、日常生活自立支援や成年後見制度の利用促進を図り権利擁護の取組を進め、関係団体・機関と連携して孤立せず自分らしく暮らせるよう支援します。

事務事業名	内 容	
日常生活自立支援事業	判断能力に不安のある高齢者や障がい者に対し、福祉サービス利用援助・金銭管理代行・大切な書類の保管など、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援する。	形態：受託事業 財源：県社協受託金 予算：10,421千円
法人後見事業	認知症高齢者や知的障がい者・精神障がい者等、意思決定が困難な方の判断能力を補うため、市社協が成年後見人・保佐人・補助人となって権利を擁護し支援する。	形態：自主事業 財源：共同募金配分金 予算：1,000千円

■施策2 防犯意識の高揚と防犯体制の整備

地域住民と協力し、安否確認や生活福祉問題の早期発見を目指すとともに、地域の様々な活動を通して、互いに交流することで、地域の福祉力を高め、みんなで支え合い、安心して暮らせるまちづくりを推進します。

【関連事業】ひとり暮らし高齢者等見守り事業、地区社会福祉協議会活動支援事業、広報事業、地域包括支援センター運営事業

■施策3 交通安全の啓発と交通安全施設の整備

地区社協における交通安全に関する取組を支援し、住民主体の地域福祉活動を通して交通安全に関する意識啓発を行います。

また、さの社協だよりなどを通じて、市民へ地域における交通安全の意識啓発を行います。

【関連事業】地区社会福祉協議会活動支援事業、地域子育て応援事業（新規事業）、広報事業

■施策4 地域で安心して暮らせる防災力の向上

災害ボランティアに関する情報提供や情報発信を行います。また、市との協定に基づき、災害ボランティアセンターの設置・運営を行うとともに、地区社会福祉協議会や地域住民を主体とした地域福祉活動を通して、防災をテーマとした取り組みを支援します。

災害時や感染症の蔓延など緊急事態の初期対応に備え、市社協の防災体制等の構築や備蓄品、資機材の確保を図ります。

事務事業名	内 容	
災害対策事業	災害等緊急時に備え、災害用備蓄品、救援資機材の整備や維持管理を行う。	形態：自主事業 財源：寄付金 予算：176千円

■施策5 生活困窮者等への自立支援の推進

生活課題を抱え、孤立しやすい個人や世帯に対し、見守りや声掛け活動など地域のつながりを生かし、生活困窮者の早期発見・実態を把握して、関係機関と連携しながらその人に応じた、包括的かつ継続的な相談を実施し、生活再建や自立に向けた相談者に寄り添う伴走型支援を行います。

事務事業名	内 容	
生活困窮者自立 相談支援事業 (重点目標)	生活困窮者が困窮状態から、早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施し、自立を支援する。	形態：受託事業 財源：市受託金 予算：20,832千円
生活福祉資金貸 付事業	低所得者世帯や高齢者世帯・障がい者世帯などを対象に、無利子または低利子で資金の貸付を行い、世帯の自立に向けて支援を行う。	形態：受託事業 財源：県社協受託金 予算：15,956千円
小口貸付資金事 業	生活困窮世帯に対し、緊急的に必要な資金の貸付を行い、生活を維持できるよう支援する。 (貸付金額上限 30,000 円償 償還期間 1 年)	形態：自主事業 財源：自主財源 予算：660千円

■施策6 市と社会福祉協議会との連携強化

地域福祉計画と地域福祉活動計画は、地域福祉を推進するための両輪となる計画であるため、様々な場面において市との連携を促進し、事業を実施します。また地域福祉推進を担う中核組織として、地域の多様な人・団体・機関の連携・協働の場（プラットフォーム）として機能していけるよう関係行政機関や社会福祉関係団体等との連携を図り、総合的な地域福祉推進体制の強化を図ります。

事務事業名	内 容	
法人の運営 (重点目標)	本所・田沼支所・葛生支所において法人運営に関する事務を行う。 理事会・評議員会等を開催するとともに、組織内の連絡、連携のため定期的に課・支所連絡会議、調整会議を行う。また、人材活用や職員管理を効果的に実施するため人事評価を実施するとともに、若手職員の育成や職員全体の資質向上に重点を置き、各種研修会の充実を図る。 光熱費の削減及び災害時の電力確保のため太陽光発電システムを導入し、運用する。 その他、市と緊密な連携を図りながら、災害時の対応をはじめ事務事業に取り組み、法人の運営を行う。	形態：自主事業 財源：会員会費・ 寄付金・繰越金他 予算：178,121千円
デジタル活用推 進事業 (新規事業)	デジタル技術を活用し、業務の効率化や作業負担の軽減を図り、事務事業の効果的な運営を推進する。	形態：自主事業 財源：会員会費・ 寄付金・繰越金他 (予算：1,994千円 法人事務事業)
活動計画推進事 業	佐野市地域福祉活動計画の進行管理や事務事業の評価を行うため、評価機関を設置し、事業評価委員会を開催する。	形態：自主事業 財源：会員会費・ 寄付金・繰越金他 (予算：15千円 法人事務事業)

総合福祉センター運営事業	地域福祉活動の推進拠点としての機能を果たすため、総合福祉センター（本所）の管理運営を行う。経年劣化に伴う要修繕箇所について、利用者が安全に利用できるよう計画的に修繕を行う。	形態：補助事業 財源：市補助金 予算：9,878千円
葛生あくど保健センター施設管理事業	葛生支所として、葛生地域の活動拠点である葛生あくど保健センターの施設管理、運営を行う。	形態：受託事業
会員募集	市民の主体的な参加による地域福祉の推進を目標に、市内全世帯を対象に趣旨に賛同いただき、会員として参加いただくことや自主財源の確保のため、普通会员、賛助会員、特別会員を募集する。	形態：自主事業
寄付金	本協議会の理念や事業活動に理解や賛同をいただきながら、自主事業の活動財源となる寄付金を募集する。	形態：自主事業
収益事業	地域福祉推進のための活動財源を確保するため、運営形態を見直しながら、佐野斎場内にて売店事業を実施する。	形態：自主事業

栃木県共同募金会佐野市支会の運営	<p>栃木県共同募金会佐野市支会として、町会等の協力を得て、共同募金運動を展開する。</p> <p>配分先の対象となる市内の社会福祉施設や非営利団体に向け、積極的に活用してもらえるよう、説明会を開催する。</p>	
------------------	--	--